

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33104	子どもの発達と社会 Society and Developmental Stages of Children	黒谷 万美子	○	専門	1	選択	1.2年前期

科目の概要

子どもを健康に育てることが、小児保健の基本である。子どもの健康の意味を理解し、健康を維持するための保健活動の重要性を理解する。また、子どもの健康を守るために、家庭、地域、学校での連携した保健活動が重要であることからそれらの保健活動に関するシステムを学ぶ。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。

学修内容	到達目標
① 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と身体発育の特徴について学修する ② 子どもの生理機能、運動機能と精神機能の発達について学修する ③ 子どもの保育(衣食住)について学修する ④ 子どもに多い症状や感染症とそのケアについて学修する ⑤ 子どもを取り巻く環境や社会背景を理解し、課題を考察する	① 保健活動の意義と身体発育の特徴について理解することができる ② 子どもの生理機能、運動機能と精神機能の発達を理解することができる ③ 子どもの保育(衣服・環境・清潔・栄養・排泄・外気浴等)について理解することができる ④ 子どもに多い症状や感染症について理解・観察し、そのケアについて理解する ⑤ 現代社会の子どもに関する社会情勢に目を向け、課題を見つけ、いろいろな側面から考察することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	・授業以外の時間を使って、自分で課題について調べたり、考えたりしたことについて記述できる。
	働きかけ力	
	実行力	・授業内で出された課題を、最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	・子どもの社会情勢に目を向け、じょうほうを整理し、課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	・自分なりに子育てに役立つ遊びや関わり方など考えることができる。
チームで働く力	発信力	・グループワークでは、自分で考えたこと、文献等で検索したことをまとめ、聞き手に分かりやすく発表することができる。
	傾聴力	・内容の確認や質問等をしながら、相手の意見を正確に理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	・遅刻、無断欠席、私語、居眠りなど講義や他人に支障をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない
 参考文献：随時、授業内で紹介
 プリント：随時、授業内で配布

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：なし

学修上の助言

・配布プリントや資料はファイリングし、まとめておくこと。
 ・身近にいる子どもの様子に関心を持ち、観察してみよう。
 ・新聞、テレビ等の子どもに関する報道に、より関心をもって見ていただきたい。

受講生とのルール

・携帯電話等、授業に必要ないものはカバンにしまう。
 ・授業中は私語を慎み、積極的に参加する。
 ・忘れ物をしないよう、次回の課題、持ち物などは、メモを取ること。
 ・＜注意＞出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容を理解できているか確認する。 ②問題と簡単な分析を中心に出题する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。 	
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		レポート		30		①	✓	授業の中でのDVD視聴やグループワークにおいて、それぞれの学びや意見、反省等今後の活動に展開できるような記述を評価する。指定の容量で記述することは勿論、より具体性、客観性、論理性を備えた記述にすること、活用できる内容にすることが重要である。
						②	✓	
						③	✓	
						④	✓	
						⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30		①	✓	グループワークと発表を行うことにより、主要テーマについての理解を深め他者に対する支援方法を実践する。リーダーを中心とするグループワークでの自分の役割を意識し、社会人基礎力をいかに発揮するかを評価する。他者評価・自己評価により、教育方法（教育方法・実技・チームワーク等）について点数評価とともに良い点・工夫が必要とされる点について記述による評価を行う。
						②	✓	
						③	✓	
						④	✓	
						⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性）・子どもの発達を理解するために、自ら資料を調べ、プリント内容を理解できる。 （実行力）・授業で出された課題について積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）・子どもに関する社会情勢の記事に目を向け理解し、課題を見つけることができる。 （創造力）・子どもの発達を理解して、遊び等を考えたり、作ったりすることができる。 （発信力）・発表の仕方を考え、聞き手に分かるように発表できる。 （傾聴力）・授業内容を聞き理解できる。 （規律性）・グループワークでは、相手の意見を聞き、質問等しながら理解する。 ・自己の都合を優先することなく、集団のルールを守ることができる。 ・遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をしないで、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに小テストやワークシートについての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表の全て満足できる評価が得られる。つまり健康な子どもについて理解し、健康ではない子どもとの違いが分かり早期に対応できることが基準となる（総合評価80点以上90点未満）。A以上の能力を有しているもの（総合評価90点以上）をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験についての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表のある程度満足できる評価が得られる。つまり健康な子どもについて理解し、健康ではない子どもとの違いがある程度分かることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義 心身の健康に関わる保健活動の意義について学ぶ	講義 DVD視聴 アクティブラーニング	・学習の進め方について理解することができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:保健活動の意義と小児保健の現状について配布資料を理解する	60	主体性 規律性
2	生物としてのヒトの成り立ち(1) 生命の誕生及び胎児期の発育・発達について学ぶ	講義 DVD視聴 レポート・ワークシート記述・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	命の誕生及び胎児期の発育・発達について理解し妊娠中の支援について記述できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:妊娠中の生活、胎児の発達を理解するためノートの確認を怠らないこと	60	主体性 規律性
3	生物としてのヒトの成り立ち(2) 新生児期・乳児期の特徴について	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	新生児期・乳児期の特徴について理解することができる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:新生児・乳児期の特徴について画像で再確認すること	60	主体性 規律性
4	身体発育の特徴 月齢、年齢に従って発育する子どもの身体発育について学ぶ	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	月齢、年齢に従って発育する子どもの身体の標準的数値を述べられる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:身体発育については月例別の運動発達を確認すること	60	主体性 規律性
5	生理機能の発達と保健 ①呼吸器・循環器の特徴を学ぶ ②消化器・泌尿器の特徴を学ぶ	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) 小テスト・レポート記述 アクティブラーニング	体温、呼吸、脈拍の子どもの標準値と特徴を述べられる。栄養に関する器官の名称と体内での配置を図示できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:子どもの呼吸器・循環器・消化器・泌尿器の特徴について成人と比較して理解すること	60	主体性 規律性
6	運動機能の発達と保健 運動機能の発達について学ぶ	講義 小テストのフィードバック DVD視聴・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	運動機能の発達の原則を理解し、首のすわりから一人歩きまでの順番を図示できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:運動機能の発達について月例別理解と異常の判別について理解しておくこと	60	主体性 規律性
7	精神機能の発達と保健 ①言葉・情緒の発達について学ぶ ②精神発達の検査法について学ぶ	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	言葉、情緒の発達の道筋を述べられる。精神発達の検査法を理解し、精神発達検査から、子どもの発達状況を推測できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:知能・感覚器・情動について復習し平均的な発達を理解しておくこと。各種検査方法の特徴について復習すること。	60	主体性
8	保育の実際(食事・排泄・睡眠・清潔・習慣作り)について学ぶ	講義 DVD視聴 レポート・ワークシート記述・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	保育の実際について理解することができる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:保育の実際について確認すること	60	実行力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	こどもに多い症状とそのケアについて学ぶ (こどもの特徴について理解する)	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) アクティブラーニング	こどもに多い症状の持つ意味について理解し述べるができる。 分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:人体の生理機について確認する	60	発信力 傾聴力
10	こどもに多い感染症について学ぶ	講義 DVD視聴・ポイント解説(Q&A) 小テスト・レポート記述 アクティブラーニング	こどもに多い感染症についてそれぞれの特徴とケアを述べられる。 分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:感染症の種類・特徴・ケアを確認すること	60	課題発見力 傾聴力 規律性
11	保育における現状と課題 育児不安の現状	グループワーク 小テストのフィードバック	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。教育計画に基づき媒体作成等の準備を行う。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:保育の実際についての復習、グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う	60	課題発見力 傾聴力 規律性
12	保育の実際、生活上の様々な問題と対応について学ぶ ①食事援助の実際と食事をめぐる問題と対応	グループワーク発表 発表に対するフィードバック	食事援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う	60	主体性 発信力 規律性
13	保育の実際、生活上の様々な問題と対応について学ぶ ②排泄援助の実際と自立への援助、排泄における問題と対応	グループワーク発表 発表に対するフィードバック	排泄援助、問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う	60	主体性
14	保育の実際、生活上の様々な問題と対応について学ぶ ③睡眠・清潔・習慣作りの実際及びその問題と対応	グループワーク発表 発表に対するフィードバック	睡眠・清潔・習慣作りの問題と対応について発表することにより自分の役割を果たすことができる。発表を聞き評価することにより、自分の教育やグループワークを振り返る事が出来る。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:資料・教科書にて学修範囲を確認 復習:グループでの打ち合わせとリハーサル等の準備を入念に行う	60	主体性 創造力
15	まとめ 地域における子育て支援の課題と展望	講義 小テスト・レポート記述	今後の課題と対策について理解し自分の考えを述べることができる。相手の意見や考えを理解・尊重することができる。	予習:資料・教科書・ワークシートにて確認する 復習:ワークシートにて不十分な項目を再度確認する	60	主体性 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力